

## 第24期第4回 地球惑星科学委員会 SCOR分科会 議事要旨

日時： 平成30年12月25日(月) 10:00-12:00

場所： 日本学術会議6階6-A(2) 会議室

出席者： 青山道夫、植松光夫、沖野郷子、蒲生俊敬、川口慎介、窪川かおる、齋藤文紀、白山義久、張 勁、新野宏、花輪公雄、日比谷紀之、益田晴恵、山形俊男(委員長)、(五十音順)

欠席者： 野村大樹、原田尚美、古谷研、升本順夫、渡邊良朗(五十音順)

議題：

・ 議事要旨を確認した(資料1-1、1-2)

1. 2018年9月にプリマスで開催されたSCOR年会について(資料2)

張勁委員がSCOR副議長に選出された。新規申請のWG(作業部会)9件のうち2件が採択された。また、申請のうち6件に日本人が参加し、Full Memberとして4名、Associate Memberとして3名が加わっており、WG活動に携わる日本の貢献度は向上した。物価上昇率を乗じて加盟国の負担を増やしていく分担金のあり様については今後議論される(資料2)。

2. 2019年9月22-25日に富山で予定しているSCOR年会について(特にロジと日本海洋学会と共催するシンポジウムについて)

9月23-25日にSCOR年会、うち25日に合同シンポジウム(日本学術会議と日本海洋学会)を開催する。また、9月22日に富山県と一般公開シンポジウムを共同開催する。26日以降の海洋学会スケジュールにSCOR関連のセッションを作る可能性が学会員から打診されたことについて議論した(資料2)。

3. 本日午後のシンポジウムの成果の発信について

12月25日開催のシンポジウムの成果を、学術会議発行「学術の動向」に特集号として掲載することをめざし、準備を進めることとなった(資料3、4)。

4. 議題3とも関連し、海洋科学の振興に関する「報告」準備について

海洋科学の10年(2021-2030)に連動し、意見の発出を準備することになった。Global Ocean Reportsのように広い分野を扱うのは難しいが、海洋分野を総合する形での学術会議「報告」をデータ重視の視点から出すことなどが議論された。

5. その他

Future Earthの最近の動向について植松委員より報告があった。第2回SIMSEA Regional SymposiumがフィリピンにおいてFuture Earth計画の一環として開催されたが、植松委員と道田 豊氏が基調講演を行い、参加者は150名で盛況であった。SSC(Sciences Steering Committee)では山形委員ら創設メンバー3名が退任し、名誉委員となった。

また、Collaborative Research Actionの締め切り間近で日本からも出して欲しいとの要望があった。Future Earth(SIMSEA)は、フィリピンが多額の助成を獲得して頑張っていることが紹介された。

本日13:00から公開シンポジウム「海洋観測における研究船の役割：成果と展望」を開催する(資料3)。

配布資料：

資料1-1 議事要旨SCOR分科会(第24期・第2回)

資料1-2 議事要旨(案)SCOR分科会(第24期・第3回※メール審議)

資料2 加入国際学術団体に関する調査票 - SCOR関係 -

資料3 SCOR分科会主催シンポジウムポスター

資料4 シンポジウムの成果の発信について

以上